

学 校 経 営

I 経 営 の 基 盤

1 本校の実態・特色

- (1) 本校は明治7年12月3日に創立し、今年度で148年目を迎える。平成28年度末には卒業生が1万人に達するなど伝統と歴史のある学校である。
また、平成13年3月から校舎改築工事が本格的に始まり、同年12月には完成した。さらに、大曲駅東側の開発が進み児童数が増加していることから、令和2年度に新校舎増築工事が始まり、令和3年度から新校舎の使用がスタートしている。
地域住民は、地元へ寄せる愛着心と「子どもは地域の宝」という思いが強く、年間を通して花館地区コミュニティ会議、花館地区スポーツ振興会、老人クラブ、民生児童委員等が本校を中心に据えた様々な活動を展開しており、児童の成長に大きく寄与している。
- (2) 昭和40年度以降、各種研究会の公開をはじめ、体育・文化両面において輝かしい実績を収め、現在に至っている。昭和58年度には花館小学校マーチングバンド（HMB）が編成され、それ以降全県大会はもちろんのこと、東北・全国大会等に数多く出場し、現在では本校の特色ある教育活動の一つとなっている。また、マーチングバンド活動に対しては、保護者はもとより花館財産区をはじめ地域住民からも力強い支援を得ている。
- (3) 図書館教育の充実を図るため、図書ボランティア「たまたばこ」による図書室の環境整備と「読み語り」が続けられている。平成22年度から大曲図書館とも連携を図り、図書館司書の協力を得て読書推進活動を行っている。加えて、これまでの図書館教育推進に係る取組全般が評価され、令和4年度子供の読書活動優秀実践校等文部科学大臣表彰を受けた。
- (4) 平成17年度には保護者・地域の方々の協力を得て、「子ども見守り隊」を発足させ、学校・保護者・地域が一体となり、本校児童の安全を見守っている。長年の活動及び無事故に対し、東北交通栄誉賞をはじめ大仙警察署長・大仙地区交通安全協会等から優良団体表彰等を受賞している。一方で、近年見守り隊員の減少が続く、隊員の確保と体制の維持が急務となっている。
- (5) 本校の教育目標「ひとりでできる みんなとできる あすにむかって 今 せいいっぱい」は、児童一人一人がつながりを広げ、自主・自律の精神を培いながら、夢を思い描き、自ら学ぶ力を身に付けることをねらいとしている。
また、大仙市教育目標「生きる力を育み、社会を支える創造力あふれる人づくり」を踏まえ、大仙市教育メソッドによる「地域活性化に寄与できる子どもの育成」を目指し、中学校区単位で校種間連携及び地域連携の充実に向け、実践を積み重ねているところである。

2 児童の実態

- (1) 素朴で明るく、相手を思いやる優しい気持ちをもつ児童が多い。一方で、多様な困り感を抱える子も多く、ユニバーサルデザインによる授業改善や個別の配慮が必要である。
- (2) これまでの文部科学省指定校事業による研究指定や平成28年度の秋田県道徳教育研究会の実践を通して、個性の伸長、友情・信頼の心の醸成が図られ、望ましい集団活動の実践が積み重ねられてきている。課題として、規範意識や判断力等の更なる向上、及び自主的・実践的な活動の充実を図るよりよい花館小の児童文化づくり、将来の夢の実現に向けて、意欲的に取り組む児童の姿の育成等が挙げられる。
- (3) 活動的で運動好きの児童が多い。一方で、校舎とグラウンドが少し離れていることもあり、外遊びが十分にできない現状であるが、時間を見つけては体育館や多目的ホール、校庭で友達と関わりながら元気いっぱい遊んでいる。
また、体力の向上に向け、平成27年度から体育の時間に「花小サーキット」と命名した基本の運動に取り組み、体力向上の一助となっている。

3 保護者・地域の実態

- (1) 学区内には、旧国道13号線、国道105号線、旧奥羽（花館）街道、国道13号線バイパス等の主要な道路があることから交通量もかなり多く交通安全指導の徹底は急務である。
また、雄物川、玉川、丸子川等の主要河川に加え、用水路等も多いことから、水の事故防止に係る指導も欠かせない。
- (2) 保護者は、学校運営に協力的で、PTA活動にも積極的に取り組んでいる。その献身的な協力体制は、本市教育委員会が掲げる「相互交流と連携の推進」の姿勢とも合致している。
- (3) 旧花館地区は、進取の気風と郷土愛の精神に満ち溢れた地域として評価されてきたが、急激な社会状況や家庭生活の変化等は、児童の意識や情緒にも様々に影響を及ぼしている。各町内では、新興住宅団地も含めて、地域行事や長期休業中の諸活動等を通じて、親近感や連帯感を高めようと努力している。

Ⅱ 経営の方針

1 学校教育目標

ひとりのできる みんなとできる あすにむかって 今 せいっぱい

2 基本的な経営観

- ・3年連続で初任者を迎えたことを踏まえ、より「育てる」視点を大事にした学校経営を！
- ・何があっても、笑顔を忘れずに！(Start with a smile)
- ・危機意識を高くもち、安全・安心を最優先とする学校経営を！

3 現状（課題）と対応策等

- ・大曲仙北教育研究会主催「生活・総合」研究会の会場校としての責務
→「生活・総合」を核とした「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた更なる授業改善
- ・通常学級に在籍し個別の指導計画を作成している児童が同一学級内に複数名在籍
→全校体制で特別支援教育の一層の理解推進、ユニバーサルデザインの視点による授業改善
- ・全ての通常学級（13学級）の児童数が30人程度（26～35人）であることを踏まえた組織対応
→個に応じた指導の充実のために、2年生以上に7年部職員が算数でTT指導へ（週5時間）
- ・専科加配、外国語加配、教育専門監（理科）等の配置による教育的効果の共有
→3年生以上で一定程度の空き時間の確保が可能

4 目指す学校像にせまる具体的な戦略及び取組等（キーワード：「共に」）

- (1) 「共に」育つ学校として
 - ・初任者・若手教員と共に授業力向上を目指す教師集団
 - ・「花小8つの約束」の徹底による基本的な生活習慣及び学習規律の確立
- (2) 「共に」学ぶ学校として
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた更なる授業改善
 - ・ユニバーサルデザインの視点による授業改善、学年・学級経営
- (3) 「共に」歩む学校として
 - ・地域の行事への積極的な関わりを通したふるさとへのよさの発見
 - ・花館地区幼保小連携協議会を核とした円滑な幼小連携の充実

5 学校教育の活性化等に向けて

- (1) 特色ある教育活動
 - ①体験活動を主催・支援する各種団体との連携の充実
 - ・鹿島流し（各町内老人クラブ）、地区民運動会（花館地区スポーツ振興会）、川を渡るぼんでん・サケの稚魚放流等（花館地区コミュニティ会議）
 - ②HMB（花館小学校マーチングバンド）を核とした全校音楽活動の展開
 - ・学校行事等での伴奏、ミニコンサート、ひめがみ活動（縦割り活動）とのコラボ等
- (2) 教職員研修及び学校教育力向上・教育財産の継承に係る具体的な取組
 - ①初任者研修・若手教員研修を核とした校内研修の充実
 - ・みんなで取り組む初任者・若手教員への指導・支援
（授業を開き授業を見合う、若手とベテラン同士の「教え合い・聞き合い・学び合い」の日常化、スタンダードを活用した「揃える」指導の徹底）
 - ②ICT機器の効果的な活用による探究型授業の構築
 - ・ICT推進チームを核とした研修の充実、タブレットの持ち帰りを想定した計画的なPCスキルの育成（「見通し、課題設定、調べる、比べる、まとめ、振り返る」等の場面での多様な活用を模索）
- (3) 教職員の多忙化防止・解消に係る実効性ある取組と同僚性の向上に係る具体的な取組
 - ①教職員の多忙化防止・解消につながる水曜日課、及び月1回の定時退勤日の継続
 - ・水曜日のみ昼清掃をせずに20分早く放課（放課後は教材研究や授業の準備に専念）
 - ・大曲中学校区内関係校における共通実践事項の継続（No 残 Happy day）
 - ②専科加配教員を中心とした専科の実施により、高学年学級担任の空き時間を確保
 - ・高学年学級担任で計22コマ程度の空き時間を確保（高学年学級担任一人当たり5～6コマ程度）
 - ③外国語専科加配で生じる高学年学級担任の空き時間を中学年へ再配分
 - ・高学年学級担任が中学年に対し3コマの出張授業をすることで中学年学級担任の空き時間を確保
- (4) 不祥事根絶に係る具体的な取組
 - ①不祥事防止ハンドブック等を活用した計画的な研修会の実施
 - ・年度初めに「不祥事防止の誓い」を配布し、同意を得て各自が署名し提出
 - ・一人一人の心に届く実効性のある研修会の計画的・継続的な実施